

議 事 録

| | | |
|-------------------|---|--|
| 会議の名称 | 令和2年度第4回国民健康保険運営協議会 | |
| 開催日時 | 令和2年10月6日(火) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時40分 閉会 | |
| 開催場所 | 環境プラザ 3階 研修室 | |
| 議長(委員長・会長)氏名 | 会 長 高橋 剛 | |
| 出席者(委員)氏名 (人数) | 副会長 市村 博子 委 員 宮岡 寛 委 員 島崎 賢一 委 員 田中 國廣 委 員 増田 俊和 委 員 天野 勉 委 員 川口 知子 委 員 樋口 直喜 委 員 宮本 将彦 | 委 員 新井 正司 委 員 宇津木 二郎 委 員 笛木 栄 委 員 藤田 龍一 委 員 小川 俊夫 委 員 海沼 秀幸 委 員 田畑 たき子 委 員 柴田 潤一郎 |
| | | 17人 |
| 欠席者(委員)氏名 (人数) | 委 員 得丸 幸夫 委 員 井上 昭夫 | 委 員 小室 万里 |
| | | 3人 |
| 議事録署名人 | 委 員 新井 正司 | 委 員 田畑 たき子 |
| 事務局職員職氏名 | 保健医療部部長 財政部参事兼収税課長 収税課副課長 保健医療部副部長兼国民健康保険課長 国民健康保険課副課長 国民健康保険課主幹 国民健康保険課副主幹 国民健康保険課主事 | 神田 宏次 野村 哲 伊藤 淳子 松本 清一 米山 隆 勝村 則子 大津 靖久 須ヶ間 紘人 |
| 会議次第 | 1 開 会 2 挨 拶 3 議 題 (1) 保険税について (2) その他 4 閉 会 | |
| 配布資料 | 1 各保険者の比較 2 決算関連資料(所得階層別の加入状況) 3 傷病手当金に係る財政支援について(厚労省通知) | |

| 議 事 の 経 過 | |
|-----------|---|
| 発 言 者 | 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
| 事務局 | 1 開 会 ○会議資料の確認 |
| 会長 | 2 挨 拶 ○高橋会長から挨拶 ○傍聴希望者の確認（なし） ○欠席委員報告 ○議事録署名委員指名（新井委員、田畑委員） |
| 事務局 | 3 議 題 (1) 保険税について ○事務局から資料に基づき説明 ○質疑 |
| 委員 | 資料1の市町村国保の公費負担の部分についてですが、ここには3,400億円の国の財政支援が含まれていて、それを踏まえたうえでの保険料負担率であるのでしょうか？ |
| 事務局 | この中に3,400億円が含まれていると理解しております。 |
| 委員 | ありがとうございます。一人あたりの保険料負担率をみると市町村国保はまだまだ高い割合にあることが分かりました。 |
| 委員 | 資料2の所得種類別の加入状況に関しまして、「所得無し」の構成割合が平成27年度から令和元年度にかけて2.7ポイント増えているのですが、これは高齢化に伴い年金で暮らす方が増えていることによるものなのか、それとも他の要因によるものなのか伺いたいと思います。 |
| 事務局 | 資料2の合計世帯数を見ますと、平成27年度は6万世帯でしたが、令和元年度は5万5,000世帯となっており、5,000世帯少なくなっています。皆様ご承知のとおり、人口ピラミッドがどんどん上にあがり、人口構造が変わってきていますので、年金をもらっている方は少なくなってきたと聞いています。そのため、年金をもらうようになり「所得無し」となった方が増えたということではなく、これはフリーランスの方、その中でも所得のない方が増えてきたことによるものと分析しております。非正規として働く方が増えてきている現状があり、そのこ |

| 議 事 の 経 過 | |
|-----------|--|
| 発 言 者 | 議題・発言内容・決定事項 |
| 委員 | <p>とが数字にも表れているのではないかと考えているところであり ます。</p> <p>無年金の方が増えているというようにも思えるのですが、この点に ついてはどのようにお考えでしょうか？</p> |
| 事務局 | <p>無年金の方の部分につきましては、国民健康保険（に関する資料） の中から読み取れるものがなく、事務局としましては認識していない ところでございます。</p> |
| 委員 | <p>意見として述べさせていただきます。資料1は社会保障審議会の資 料ということで、一つの切り口からみると現状はこのようになっている ということで、正しい資料であると思います。ただ、保険料負担率 について違った切り口からをみますと、これは個人の負担を表してい るものであり、企業が負担している部分を削除したうえで比較してい るものであります。税制の違いはあるものの、企業が社会保険等の負 担をするとその分収益が落ちるわけで、従業員の給料への配分が大き く変わってきます。昨今、中小企業では年金も含めた社会保険料負担 が増えているがために、給料を普通にだしたとしても減って行ってし まうという現状があります。税制の違いもありますので、イコールで 議論をすることはできませんが、企業負担部分が従業員に全く関わっ ていないということはないわけでありまして、この比較表ではその切 り口が入っておりません。この点も踏まえて、保険料負担率がどのよ うになっているかについては、別の角度からもみて、総合的に考える のが本来であるのではないかと考えております。また、加入者と被扶 養者に関し、国保と比べて家族の分の保険料を払っていないではない かという点について、それは確かにそうなのですが、一人家計の方も 非常に多いということもありますので、一律に考えるべきではないと 思っております。</p> |
| 事務局 | <p>ただいまご指摘のあった点に関しまして、資料1の「加入者一人当 たり平均保険料」の欄では、例えば協会けんぽさんの場合は、19万 1,000円と記載されていますが、その隣の三角で囲われた38万3,000 円という金額が事業主負担込の保険料となります。それを加入者一人 当たりの平均所得で割りますと、負担率は15.1%に跳ね上がります。 また、組合健保さんの場合は12.8%、共済組合さんの場合は11.7%に それぞれ跳ね上がるということで、事業主負担を含めると、市町村 国保よりも負担率が高くなっているという点をご指摘いただいたも</p> |

| 議 事 の 経 過 | |
|-----------|--|
| 発 言 者 | 議題・発言内容・決定事項 |
| 会長 | のと事務局として理解しております。 それでは、これまでに委員の皆様から頂いたご意見を踏まえまして、答申案の調整をさせていただきますので、しばらくお時間をいただきたいと思います。暫時休憩とさせていただきます。 |
| 会長 | (再開いたします。) |
| 事務局 | 答申案配布 読み上げ (附言) 1. こどもの均等割に対する新たな軽減措置の創設について、引き続き国や県に要望していただきたい。 2. 税率等の改定にあたっては、市民の生活状況をよく見て進めていただきたい。 3. コロナ禍において、国民健康保険税の減収等が想定されるので、より一層、国費等の投入が拡充されるよう、国や県に要望していただきたい。 4. 川越市国民健康保険赤字解消・削減計画のとおり、保険税の改定だけに頼らず、「健康経営」及び医療費適正化対策による財政健全化を進めていただきたい。 以上でございます。 |
| 会長 | ただ今の内容で答申とさせていただきたいと思いますが、ご意見等はございますでしょうか。 |
| 委員 | これまでの質疑の中でも申し上げてきたことですが、現在、国民の生活や事業者の経営が大変ひっ迫しております。そういった中でも、川越市国民健康保険赤字解消・削減計画を予定どおり進めるべきという内容だと思いますが、今の市民や事業者の生活を見る限りそういった状況にはありません。そのため、この計画を予定どおり拙速に進めるべきではないという反対の意見があったという点を付け加えていただけたらと思います。 |
| 事務局 | 答申書の附言の中に加えるということでしょうか？それとも議事録に記録として残すということでしょうか？ |
| 委員 | 附帯意見として、次のページ等にそういった意見があったということを加えていただけたらということです。 |

| 議 事 の 経 過 | |
|-----------|--|
| 発 言 者 | 議題・発言内容・決定事項 |
| 委員 | <p>答申書案の附言の2番目で「市民の生活状況をよく見て進めていただきたい」と記載されていますので、いまの点はここに含まれているのではないかと考えられます。議事録の中では当然委員さんのご意見をしっかりと書くべきだと思いますが、附言のところではたくさんの意見をまとめて書かざるを得ないと思います。</p> |
| 委員 | <p>私の意見は附言の2番目の「よく見て進めていただきたい」ということではなく、4番目の内容に対する違った意見を附帯意見として残したいということです。答申書の附言として4番目の内容がだされるとは思いますが、それに対する別の意見、「計画を拙速に進めるべきではない」という意見があったということを附帯としてつけていただきたいということです。</p> |
| 事務局 | <p>言葉としては下がってしまうかもしれませんが、4番目の附言の後に例えば「なお当該計画の推進に関しては慎重に進める」といった内容を加えるということはいかがでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>なお書きであればそういった内容にとどまるのではないかと思います。この答申書案を見たときに、1番目から4番目の附言に対する反対意見をなお書きで入れるのは難しいのではないかと思います。そのため、この附言の1番目から4番目はこのままでもよいと思いました。ただし、その他の意見としてこういったものがありましたということ裏面や2ページ目、別紙といった形で付け加えたほうがすっきりとするのではないかと思います。</p> |
| 会長 | <p>それではもう一度、事務局の方で答申書案の調整を行いたと思いますので、暫時休憩とさせていただきます。</p> |
| 会長 | <p>(再開いたします。)</p> |
| 会長 | <p>先ほどのご意見を踏まえまして、更に調整をしました答申書案をお配りしてよろしいでしょうか。</p> <p><異議なし></p> |
| 事務局 | <p>修正後の答申案配布 読み上げ</p> <p>附言の4番目に「なお、当該計画の推進にあたっては、現下の社会情勢に鑑み、拙速とならないよう、十分に検討していただきたい。」</p> |

| 議 事 の 経 過 | |
|-----------|---|
| 発 言 者 | 議題・発言内容・決定事項 |
| 会長 | <p>という内容を追記いたしました。</p> <p>修正案についてご意見はありますか？ <意見なし></p> |
| 会長 | <p>答申の内容につきましてはただいまご承認をいただきましたので、市長さんへの答申は正副会長に一任いただくということでよろしいでしょうか？ <異議なし></p> |
| 会長 | <p>それでは事務局は日程調整をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>(2) その他 <input type="radio"/>事務局から資料3について説明 <input type="radio"/>質疑（なし）</p> |
| 会長 | <p>事務局から他に何かありますか？</p> |
| 事務局 | <p><input type="radio"/>新型コロナウイルスに係る減免申請件数や減免額の途中経過について説明 <input type="radio"/>質疑（なし）</p> |
| 副会長 | <p>4 閉会 <input type="radio"/>副会長から閉会のあいさつ</p> |